くれよん　もみじぐみ　９月

蒸し暑い日が続きますが、秋の虫の声も聴こえるようになってきました。
子ども達が快適に過ごせるように、水分を細目にとったり室温や衣服の調整を行いながら遊んでいきたいと思います。

たくさん遊んだね！　　水遊び

気温が高い日が続きましたが、初めてのみずあそびをすることができました。始めは、「何をするのかなあ」とドキドキしていた子ども達。マットの上に座り、タライの中のお水を手でそっと触っていました。　水遊びの経験を重ねていくにつれ、水面を手でたたき、水しぶきをあげて遊ぶ子どもの姿も見られました(*^-^*)

手先を使った遊びもしています

０歳児は這い這いや歩行など全身運動がめまぐるしく発達していきますが、手先や指先の動きも発達していきます。ガラガラを掴む→片手で掴んだおもちゃを振って遊ぶ→掴んだおもちゃを持ち変えて遊ぶというように、子ども達は段階を踏んで成長していきます。お座りができるようになると、両手を自由に動かすことができるようになるので手先の遊びがどんどん広がっていきます。今のもみじ組の子どもたちはまさにこの段階です。そんな子ども達が楽しく遊ぶことができるよう、個々の発達に合ったおもちゃを提供しています。今回は少しですがご紹介します。

ポトリンコ→初めは手の平全体で握ってお手玉やボールを握ってミルク缶や段ボールの穴に入れたり出したりして遊びます。次にチェーンやペットボトルのふたなど小さい物を指先でつまみ、穴を開けた容器に入れたり出したりと移っていきます。

そーっと

中に入るかなあ

ぐいっと！

重ねカップ→両手で持って叩いたり、転がして遊んでいた子ども達も、チェーンをつまんでカップの中に入れて振ったり、大きいカップの中に小さいカップが入る事を発見し、大喜び(o^―^o)重ねて遊ぶだけではなく、様々な遊びを発見している子ども達です！

ゆっくりゆっくり

あっっ　入った！

つかんで入れよう！

遊びを提供するときは、やり方を伝え、できたときは「すごいね」「できたね」と声をかけ達成感を感じられるよう関わっています。大人に褒められたことで子どもたちは「またやってみたい」という気持ちが芽生えるようで、もくもくと遊び、満足すると「できた！！」という表情で大人の顔を見て繰り返し遊ぶようになってきました。
今まではおもちゃをいじったりなめたりする遊びが主でしたが、ちょっとずつ遊び方が変わってきています。子どもたちの成長を感じとても嬉しく思います。